

令和元年度

徳島県立病院年報

第 54 号

徳島県病院局

ま え が き

平成 17 年度に地方公営企業法を全部適用した徳島県病院局では、平成 27 年 3 月の新公立病院改革ガイドライン（総務省）を受け、「徳島県病院事業経営計画（安心医療・とくしまを支える新県立病院プラン）」を平成 28 年 6 月に策定し、「医療の質の向上」と「経営財政基盤の強化」を基本戦略に掲げ取り組んでおります。

令和元年度におきましては、中央病院と海部病院との間で、令和 2 年 1 月 14 日から 2 月 14 日に 5 G を活用した遠隔医療の実証実験を実施し、実際の医療現場における 5 G の有用性を確認しました。

また、「県民が等しく質の高い医療を受けることができ、安心して暮らせる徳島の実現」に向け、公立病院と基幹となる公的病院の包括的な連携体制として、令和 2 年 1 月に 13 病院による「医療コンソーシアム」の協定を締結しました。この協定書に基づき、各病院間での相互理解や情報共有を深め、未来を担う人材の育成支援や 5 G による遠隔医療の展開など、さらなる「医療の質の向上」や「地域医療の充実」に取り組んでまいります。

令和元年度の経営状況につきましては、入院患者数、外来患者数ともに増加し、総収益が増加した一方で、材料費や給与費等が増加したことから総費用が総収益を上回ることとなり、全体として約 2 億 6 千万円の純損失が発生いたしました。

今後の病院事業を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、更に厳しい状況が続くものと懸念されるようですが、県下の基幹病院あるいは地域の中核病院としての機能を十分に発揮し、なお一層の経営努力を行いながら、「県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる」との基本理念の下で、良質な医療の確保を図ってまいりたいと考えております。

この度、令和元年度における県立病院の業務内容と経営概況を中心として、病院事業の実態を計数的に把握できるように年報として取りまとめましたので、参考資料として、ご利用いただければ幸いです。

令和 2 年 12 月

徳島県病院事業管理者

香 川 征

凡 例

- 1 この年報で徳島県立病院とは、徳島県病院事業の設置等に関する条例（昭和 39 年条例第 37 号）により設置された病院をいう。
- 2 この年報の年度区分は、平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までである。
- 3 病床数は、医療法の規定に基づき、知事の使用許可を受けた病床数である。
年間平均病床数は、毎日の病床数を合計し、これを暦日数で除したものである。
- 4 入院患者延数とは、毎日午後 12 時現在の在院患者数にその日の退院患者数を加え、これを年間合計したものである。
- 5 外来患者延数とは、診療のため来院した患者数を年間合計したものである。
同一患者が 2 科以上の診療を受けた場合、入院患者が他科の診療を受けた場合及び薬品を交付した場合には、それぞれの科の患者数として計上した。
- 6 1 日平均患者数は、入院については暦日数で、外来については実診療日数で除したものである。
- 7 入院患者の病類別区分は、主たる病類の別に結核、精神、感染症に区分し、その他を一般とした。
- 8 診療費負担区分別患者数とは、診療費の支払方法別に区分した患者数である。
- 9 診療科別患者数とは、病院において標榜している診療科で診療を受けた患者の数である。
- 10 診療点数とは、診療報酬点数表、歯科診療報酬点数表により算定した点数である。
- 11 表章記号は次のとおりである。

計数がない場合	0
計数がありえない場合	—
数値が微少の場合	0.0
- 12 以上のほか注記が必要と思われるものについては、それぞれの箇所に記載した。

令和元年度 徳島県立病院年報目次

まえがき
凡 例

第1章 県立病院の概況

1	概 要	3
2	現 況	4
3	機 構	5
(1)	本 局	5
(2)	中央病院	5
(3)	三好病院	6
(4)	海部病院	6
4	職 員	7
5	沿 革	8
(1)	中央病院	8
(2)	三好病院	12
(3)	海部病院	15
6	許可病床数・診療科目の変遷（法適用後）	17

第2章 施設の現況

1	土 地	21
2	建 物	22
3	医療器械器具	23
(1)	令和元年度取得高額医療器械	23
(2)	病院別医療器械	24

第3章 患者の状況

1	入院・外来患者数	35
2	月別1日平均患者数	38
3	病類別入院患者数及び構成比	40
4	病 床 利 用 率	41
5	診療費負担区分別患者構成	42
6	診療科別患者構成	43
7	職員1人1日当たり取扱患者数	44
8	救急患者数	45
9	患 者 統 計	46
(1)	令和元年度病床数・病床利用率	46
(2)	令和元年度平均在（通）院日数・外来入院比率	46
(3)	令和元年度月別患者数	47
(4)	令和元年度月別1日平均患者数	48
(5)	令和元年度診療科別延患者数	49
(6)	令和元年度診療科別1日平均延患者数	50
(7)	令和元年度診療費負担種別	51
(8)	令和元年度救急患者数	51
(9)	令和元年度差額室延数・利用患者延数	52
(10)	令和元年度職員1人1日当たり患者数	52

第4章 診療の状況

1	診療給付点数	55
2	診療科別点数構成	56
3	診療科別患者1人1日当たり点数	58
4	手術件数	60
5	分娩件数	61
6	放射線等使用件数	62
7	検査件数	63
8	給食件数	64
9	診療統計	65
(1)	令和元年度診療科別給付点数	65
(2)	令和元年度診療科別患者1人1日当たり給付点数	66
(3)	令和元年度手術件数	66
(4)	令和元年度月別分娩件数	67
(5)	令和元年度放射線等使用件数	67
(6)	令和元年度検査件数	68
(7)	令和元年度食種別給食数	68
(8)	令和元年度院外処方箋発行状況	69
(9)	令和元年度服薬指導実施状況	70
(10)	令和元年度無菌製剤処理加算実施状況	70
(11)	令和元年度後発医薬品導入状況	70
(12)	令和元年度入院時持参薬調査	70

第5章 職員の状況

1	部門別職員数	73
2	職種別職員の平均給与月額	74
3	職種別職員平均年齢	76
4	職員統計	77
(1)	令和元年度末部門別職員数	77
(2)	令和元年度100床当たり部門別職員数	77
(3)	令和元年度職種別職員平均給与月額	77
(4)	令和元年度診療科別1日当たり医師数	78
(5)	令和元年度末職種別職員平均年齢	79

第6章 経理の状況

1	収益及び費用	83
2	資産・負債及び資本	88
3	資本的収支年度別比較	90
4	企業債借入及び償還状況	91
5	主要経営比率	92
6	経理統計	93
(1)	令和元年度収益・要素別費用	93
(2)	令和元年度収益(100)当たり要素別費用	93
(3)	令和元年度患者1人1日当たり収益・要素別費用	93